

親子をつなぐ Xmas絵本

親子の絆を深める絵本の読み聞かせ。この季節は、クリスマス絵本をあちこちで楽しめます。



演奏を背に紙芝居風の自作絵本を読む志茂田さん(左奥)＝ポプラ社ホール①絵を張り付けていくパネルシアター＝山手234番館



まちあるき

読み聞かせや合唱も

尺八と琴の演奏にのせて、直木賞作家の志茂田景樹さん(71)が自作の絵本を読む。床に座った子どもたちがじっと見つめ、母親たちも心地よそくに耳を傾けていた。志茂田さんとボランティアの「よい子に読み聞かせ隊」がポプラ社ホール(東京都新宿区大京町22の1)で月1回開く「読み聞かせコンサート」。約90分で世界の名作や季節を感じる絵本を8冊読み、合唱や手遊びを楽しむ。3歳の息子と通う都内在住の光本一恵さん(40)は「子どもは最初は飛び回っていましたが、今は話に釘付け。集中力がつきました」と話す。家庭での読み聞かせは工夫次第で「親子の感受性を刺激します」と志茂田さん。例えば、絵本に知らない動物が出

てきたら図鑑で教えたり、「ドボン」「バタバタ」と書いてあっても自分の子が喜ぶ振音に夢をみたり。13年前から、読み聞かせ隊は各地の小学校などを回り、震災被災地も精神的に訪ねた。幼いころ、母にたくさん読み聞かせてもらった喜びが志茂田さんの原点だ。「読み聞かせは親子のスキンシップ。親への信頼感につながり、絆が育まれます」。

次回は21日午後7時、バイオリンやフルートの演奏と『赤鼻のトナカイ』などのクリスマス絵本を取り上げる。問い合わせは志茂田景樹事務所(03-3344-5006・0722)。

洋館の雰囲気楽しむ

かつて外交官や貿易商が住み、多くの観光客でにぎわった横浜市の山手西洋館(中区山手町)。ここでも読み聞かせの会が毎月開かれている。この季節は、華やかな人形飾りやツリーの中でクリスマス絵本の朗読が楽しめる。今年4日は、絵本作家のこがようさんが西洋館の一つ、山手234番館で「ゆづ

いろんなところで待ってるよ

◆ちひろ美術館・東京 練馬区下石神井4の7の2(03-3995-0612)。毎月第2、第4土曜の11時。24日は岩崎ちひろ作『ゆきのひのたんじょうび』などを紹介。靴を脱いでくつろげる空間には授乳室が用意され、おもちゃで自由に遊べる。入館料800円、高校生以下無料。

◆紺野美沙子の朗読座 17日田園1時と4時、横浜青葉区美しが丘1丁目のたまプラザテラス内ゲートプラザ2階。朗読・影絵・音楽を組み合わせて『ベルベットのうさぎのなみだ』と『サンタのおまじない』を上演する。2000円、こどもも500円。3歳以上対象。オーキャン(03-3560-7623)。

◆ブックハウス神保町 千代田区神田神保町2の5(03-3261-5691)。児童書専門店。18日国正～園5時、クリスマスリース教室の中で2時と3時に開催。月に1度、プロの声優による読み聞かせ会もある。いずれも無料。

たいてい反応するのを見て「こんな本がいか、クリスマス絵本選びの参考になった」と喜んだ。

西洋館では、234番館の向かいに建つエリスマン邸(045-211-1110)で10年前から読み聞かせを続けてきた。この夏は初めて絵本フェスティバルを開いた。

17日午後1時半には、エリスマン邸で、地元ボランティアによるパネルシアターや影絵、手話ダンスなどのクリスマス絵本イベントがある(この回のみ有料)。

(中山理恵)